
月の病

響鏡 空

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月の病

【Nコード】

N6680R

【作者名】

響鏡 空

【あらすじ】

夜の満天には星である。一見すれば、平穏な十一月なのだが、本当ならば満月の夜なのである。綺麗に輝くのは星だけの、不審の空であった。

このように、月齢だけが正しい日々は、既に三カ月に渡っている。暦の正しさが揺るがない今日であるから、この異様さは人々にとつては不安なのである。いつしか、世情も荒れていくのであった。

こうして緩やかに廃れていく様子は、流行り病にかかったようである。活気は失われて、逃避の風潮が蔓延るのであった。明日を容

易く望めない日々であるから、世界は沈鬱なのである。

そして、いつしかこの現象は「月の病」と呼ばれるようになった。そうになると、人々は都合の良い「特效薬」を求めるのである。

勿論、そんなものは存在しない。しかし、聴けば共通の噂が、そのような夢想を許すのである。

その噂とは――。

喩えて云えば、現は人の夢。

叶うも叶わぬも、己が独力次第。

天命や人事、世にある様々は試練ではあるが、それら無くして人は人には成れない――。

彼女の夢（前書き）

この物語の途中には、十五歳未満の方には過激、もしくは不相応と思われる描写が含まれる可能性があります。もし、設定された年齢に満たない方がご覧になっている場合は、申し訳ありませんが、退出をお願いします。

また、本作は縦書きを前提にしております。「縦書きで読む」「PDF」で御覧になっていただくことをお奨めいたします。携帯電話の方には不憫をおかけして、申し訳ありません。

では本作、『月の病』をお楽しみください。

彼女の夢

水はなみなみ、満たして杯。

砂はさらさら、こわ毀れて埋まる硝子の破片。

星はれいれい。ちりば鏤められた満天の、一見は孤独のそれぞれも、思
わぬ縁で星宿り。

掴みそこねた星屑一つ。

淡くけむ烟る天の川の、

流れの一つ欲しさに指先浸し、

わずか広がる波紋に見惚れていたら、つい。

弾いたら、はしるほしほし。

混ぜたら、うずのほしほし。

すく掬ったら、ひかるほしほし。

遠く——遠く遠く、遙かに遠く。
彼方から、こなた此方まで光を。

月明かりという標^{しるし}。
誘われて歩けば、なんて静かな夜。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6680r/>

月の病

2011年3月17日02時15分発行